3月16日 水曜日 15日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話（代表）京橋（56）8646 （直通）販売（〃）0437広告（〃）3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話代表芝（43）1163番 東京振替貯金口座 170071番
内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3037號 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號）（中華郵政台字第637號執照登記爲第2類新聞紙類・内政内簽証報儀内台警字第0136號）
4版

天気予報
今晩 北東の風曇り時々小雨、夜ふけて晴
明日 北の風曇一時雨のち一時雨、気温平年並

あすの暦 3月16日・水 旧2月22日
月齢 21.5
日出 5.52
日入 5.48
月出 0.12
月入 9.59
満潮 前 8.30 後 11.20
干潮 前 2.30 後 3.50
（小潮）

月末にも調印を期待
余剰農産物買付け交渉

【ワシントン十四日発＝共同】米当局者は十四日、余剰農産物買付方式に関する日本側の非公式新提案を米政府が受諾したことを明らかにするとともに「日本側が速やかに当地大使館を通じ米国側新回答にそった正式提案を行うことを期待する」と述べた、右当局者によれば米側回答は外国通貨による余剰農産物の売却を定めた関係法規のワク内で日本側の希望どおり「農産物をドルで売り、その代価のうち三割を米側が使用し、残り七割を日本のドル借款とする」ことが援濟操作により可能であるとし、このための具体的措置、手続を日本側に示したもので、十一日夕刻島公使に対し口頭で伝達された、もし日本側が米側のこの申し入れに応ずるならば交渉は一気に促進され、今月末あるいは来月早々調印の運びとなることも可能であるといわれる

米、日本案を受諾
近く本交渉開始へ

ワシントン電によると米国政府は余剰農産物買付に関する非公式な日本提案を受諾すると報じているが、日本政府は数日前ワシントン大使館から米国側は受け入れるだろうという報告を受け取っているので、公電が入り次第日米協定の最終案文の作成に着手する 米国は先きに三月末までに問題の解決を要望しているので、政府も取急ぎ正式協定案をまとめて交渉開始に持ち込む予定だが、協定は余剰農産物買付協定及び五千九百五十万ドルの借款協定の二本立になる可能性が大きく、細目は目下関係各省間で検討中である、また借款期限は四十年、金利二分五厘を提案しているが、金利は名目上三分とし据置期間を無利子とすることによって実質金利を二分五厘にする交渉が行われるものと見られる

きょう開始 在米日本資産返還交渉

【ワシントン十四日発AP＝共同】総額六千万ドルと見積られる日本の在米接収資産の一部返還の交渉は いよいよ十五日国務省で開始される、この交渉は日本側の返還請求者を代表する渡辺公使とボールドウィン国務次官補（経済関係担当）との間に行われる

鳩山言明の真意は疑問
米政府筋見解

【ワシントン十四日発UP＝共同】鳩山首相は十四日、外人記者会見で日本における原爆貯蔵問題について「もしそれが平和維持を促進するものであれば反対する理由はない」と言明したが、米国政府筋では鳩山発言の真意を疑問視してつぎのような反響を示している 日本における原子兵器貯蔵が必要になるとか、あるいは要請された場合鳩山発言は対米協力の程度をはかる一つのメドとして米当局を楽観させるものであるが、鳩山首相自身この言明通り実行にうつすかどうかは大いに疑問だ、この問題が実際に討議されたか、もしくは近く討議されるかについては国務省筋も全く関知していない

閣議、暫定予算を了承

政府は十五日の閣議で四、五月分暫定予算を了承した、しかし現内閣は十八日総辞職することになっているので第二次鳩山内閣が成立したのち正式に決めることになりこの日の閣議では全閣僚が了承するに止めた 歳出規模は千六百八億円で、歳入は税収と大蔵省証券または余裕金でまかなう予定である、歳出の主なものは防衛支出金と地方交付税交付金のそれぞれ三ヵ月分でその他人件費、庁費の事務的経費で、新規経費や補助金は計上されていない


日共の新指導部 左から米原、宮本、志賀、春日の諸氏

志賀氏ら四氏
日共、新指導部の陣容

日本共産党は十四日の中央指導部会議で総選挙の情勢に対応するため新指導部を編成し、春日正一（議長）志賀義雄、宮本顕治、米原昶の四氏を新指導部員に決定、十五日の記者会見で次の声明を発表した、新指導部はこれまでの八名を四名に減員した点に特色があり、他の四名は新たに設けられる専門部の責任者にあてられることになっている、この日の記者会見には公職追放以来はじめて東京で姿をみせた志賀義雄氏をはじめ新指導部全員が出席した、声明要旨つぎの通り

こんどの選挙で党のとった政策の転換と民主勢力の団結の方針はある程度成功を収めた、しかしこれは端緒的な成功である、今後のわれわれの任務は一・一の主張と選挙綱領に従って民主勢力の団結と強化に向ってさらに前進することである 中央指導部はこの情勢に対応して指導体制を強め、各専門部も充実させることを決定した、他の同士は新しく確立される専門部の活動の中心となる予定である

なお新指導部からはずされた旧指導部員は田中松次郎、風早八十二、岩間正男、松本三益の四氏である

技術援助で寄与
域内各国の相互発展に
エカフェ会議で外相あいさつ

戦後わが国で開かれる最大の国際会議であるエカフェ会議（国連アジア極東経済委員会）は十五日午前十時半東京大手町の産経会館五階大ホールで英、米、ソ連、インド、パキスタン、ビルマなど廿四ヵ国代表約二百名が参加、日本側からは重光外相、朝海全権公使（代表）はじめ各省関係局長が出席して第七回産業貿易委員会の幕を開けた

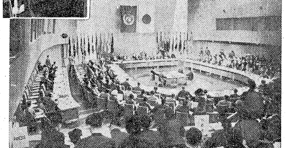
重光外相はエカフェ第七回産業貿易委員会の開会式で大要次ぎのようなあいさつをのべた

一、世界人口の五割を占めるエカフェ地域は元来、国内資本の蓄積が少ないうえに人口増加率が多く経済面では域外先進国に比べ著しく立ちおくれている、そのため独立で経済発展の基礎を築くことは困難でこのため、大規模かつ積極的な経済援助、とくに資本援助を行うことを要請したい

二、この際とくに地域外諸国に要請したいのは地域内主要産物の安定した買付けに従来より一そう協力的な態度をもって臨まれたい

三、最近世界経済の注目すべき傾向は欧米各国が貿易及び通貨の自由化に向って着実に進んでいることである、しかし欧米と著しく経済状態を異にするエカフェ諸国はこの傾向に画一的歩調をとることは難しい、こうした前提としてエカフェ地域内における貿易促進上の困難を各方面にわたって検討し多角的な貿易、及び支払の機会をできるだけ多く見出すよう各国が協力することは必しも困難ではない

四、かねてよりわが政府はアジア諸国との経済協力をその主要政策の一つとして掲げてきた、しかし過剰人口に悩み、資本の蓄積の不十分な日本として経済開発援助資金の拠出という面ではあまり大きな寄与をするとはできない、しかし資本財の供給や技術援助の面では相当寄与する分野があると思う 昨年秋コロンボ計画への参加も認められたので同計画の発展には大きな期待を寄せている次第であり地域内諸国の経済発展、相互繁栄のため日本としていさゝかなりとも貢献し得ることを念願したい



開会式全景㊤とあいさつする重光外相

粋人辞事
あなたのバカ
峰岸義一



女のラスト・シンギング（最後の詠嘆）というものは、綴りは違うけれども各国とも皆同じ意味の呼び声である。

これを、褥の呼び声とも（本来の俗語は絶息の意味だが）フランスではランドラームとや申す。叫ばない呼び声ともいうのは、実に深く穿った形容ーいや詩情である。

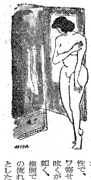
女のラスト・シンギングなんていったって大抵の若い女の子は「何んのこと？」と訊く位なもので、全然お話にはなりません。頼りないことおびただしいが、それ、女も廿を五つも越し、卅から四十と性歴を積めば、おのずと、その解釈の仕方も変ってくるというものである。

春眠暁を告げる鶯鶯の声と自分の囀きを比較してみたり、障子穴の隙間洩る春風のメロディに鼻声を乗せてみたり、いろいろと考えさせられるものがあると思う。

女というものは、一人になると一糸纏わぬ艶姿を、洋服箪笥の鏡に映してみてほくそ笑むとは、よくぞいいつる華麗なエゴイストである。それでいて、決して「そんな真似はしませんわ」とアンケートではきっと答えるものだが、トボケル方でも人一倍のエゴイストである。

ところで、キルミー（わたしを殺して…）などは余りに有名で、もうこの頃では余韻がなくなってしまったし、中国の頂好々々も読んで字の如く曲がなし、フランスのボンボンも当り前、ゴーゴーカムカム、も通仕来日本版なら訳してこれも規通り、ありふれ過ぎていて解釈のしようもない。そこへ突然として、最近筆者の耳に入った世界的な新語がある。それを紹介して春宵千金の語り草としよう。

げに、言葉ぐらい微妙で幽雅、怪奇にして複雑なものはない。ただ声の意味から読めば何んのこともないのが、一旦特定の発音を挾んで、それを規定したときは、えらく凄んでくるからオッソロしい。



私の友人にH夫妻というのがある。それこそ近所でも評判のオシドリ夫婦で、北林谷馬君たちの愛妻会の幹事長になれる資格十分、アパートは八方一字の睦言に当てられどおしで、時間外れの放送でもかけッ放しにして置かないことには安眠出来ないという、騒音奨励は世にも逆現象である。

その睦言の中でも、一番私をして羨しがらせ、いや、いたく悩ました言葉は「貴方の馬鹿」これは仮名が適当で「あなたのバカー」というラスト・シンギングである。

だから、これは若い女の人には飲み込めない呼び声だということになる。

どんな男だって、女房から「貴方の馬鹿！」とやられれば、普通だったら腹が立つだろうが、この言葉、陽性にして甚だ陰性で、これがもし、閨の愛撫のシワ寄せに、「あなたのバカー」と呟くが如く、叫ぶが如く、呼ぶが如く、讃立つ放心の瞬間…そして横腹でもつねられてうわ言のそれの流れるに似て、やっつけられたとしたら、さてどんな気がするであろうか？ 男性と生れ来て、等閑に付すべき過去からの呼び声ではないのである。しかも、女の声が嗄れて、かすれたほど男心に利くとは、この言葉以上のものはなかろうと私は思う。

試みに諸君が、女の声をかりてかすかに「あなたのバカー」と呟いて見給え…恐らく陰にこもる何物かを感得するであろう。

成る程、H夫人は、いつの場合でも、口癖のように「貴方の馬鹿…」と亭主を吸鳴っている様子だが…これがひとたびラスト・シンギングの一節となってじょうじょうたるメロディをなした時は、如何なる世界の言葉も顔色なく、忽ちにして光を失うのである。

心利いた大通の集りで、この新語を発表した時「…の…」は要らないとか、聞だるいとかの説が出たが、断じて「…の…」がなければ真実ではない。ということは「…の…」が接続していることによって、彼女の瀞目になって呼ぶ、十分満足の表情がうかがえるからである。男性と生れて、女から馬鹿といわれるなら、あゝこうして極く自然に「あなたの馬鹿」と呼ばれたらどんなに幸福だろう。私も経験がない言葉だけにそういってくれるあの世からの罵倒的哀号をいつも待っている一人である。

ジグザグコース
志田重男を粛清？

今年の元旦号のアカハタは再び平和革命を掲げはじめた。オヤッと思っているうちに、地下から志賀義雄が仁木弾正よろしくせりあがって大向うを驚ろかせた。案の定総選挙には大阪一区からその柔い物腰でゆうゆうと当選して来るなど、今年の日共は相当面白い見せ場がありそうな気がする。

この志賀の出現はいろいろ話題を生んでいるが、その一つとして徳球系統の主流派を徹底的に粛清するという観測が行われている。

志田重男といえば、伊藤律なきあと徳球の一の子分である。徳球、野坂が国外（中共）に亡命して以来、公然、非公然の実権者だった。その志田が占領中GHQのスパイだったというのである。

日共党内には、志賀に刃向って満足だったものはいないというジンクスがある。伊藤律、神山茂夫がそうだった。

日共はスパイという文句がよほど好きだと見えて大物除名の際には必ずこれで粛清する。ところがこの文句ほどあいまいなものはない。かつて日共の全国オルグだったY氏は「具体的に証拠を示めされず、お前はスパイだといわれても反ばくすることは不可能だ」といっているが志田もこの手で粛清されるのではないだろうか。

神山茂夫などは、自分を除名したのは志賀の指金だとウラミ骨髄に徹しているらしい。総選挙中神田の平和堂という書店から志賀攻撃の怪文書が相当ばらまかれた。ところがこれによると志賀自身占領中GHQと通じていたというのである

治安当局ではこれを神山一派の手になるものだと見ていたが、こうなれば泥試合である。

スパイ摘発を本業とするベリヤが粛清された。前後して日共ではベリヤに相当する伊藤律を抹殺した。抹殺者が抹殺される、この鉄則の前には志賀だとて安心出来まい。志賀を粛清するのは一体誰なのか？（兵）


【写真は志田重男氏】

裁判促進など
法相検事長会同で要望



法務省では十五日午前九時半から本省会議室で全国検事長会同を開き、裁判促進、地方選挙取締対策新任検事の配置などについて協議した、席上花村法相は次のように訓辞、訴訟促進と地方選挙取締の重要性を強調し検察当局の協力を要請した【写真は検事長会同】

法相訓示

（要旨）一、過般の総選挙において各位の熱意により斎々公明選挙の実をあげていることについて敬意と謝意を表する、しかしながら総選挙の取締に引続き重要なのは裁判の促進である、従来裁判は著しく遅れているため先般田中最高裁長官、塚崎日本弁護士会長を訪ね訴訟促進の協力方を依頼し、その結果法務、検察、裁判所、弁護士会をもって選挙事犯審理促進協議会ができ、目下協議を進めているので、この点についても留意のうえ訴訟の促進に努力されたい

二、地方選挙については従来総選挙に比べて取締りもいさゝかゆるやかだったように思われるが、地方選挙は総選挙の基盤ともなるものであるから、この点の取締りについても遺算なきを期せられたい

日本の輸出増進へ
ダレス、スタッセン 両長官援助を強調

【ワシントン十四日発ロイター＝共同】（ヌインズ記者）米政府首脳部の間ではいまアジアの非共産諸国に対する日本の輸出拡大を助ける計画が真剣に検討されている スタッセン対外活動本部長官は最近のアジア諸国訪問の結果、日本が原料と引換えに工業製品をアジア諸国に輸出できるようにすることをねらいとした一連の提案を作成したものと見られる

【ワシントン十四日発ロイター＝共同】ダレス米国務長官は十四日米上院歳入委員会で互恵通商法延長法案の採択を要望する証言をおこない、その中で日本の東南アジア貿易拡大の必要を強調してつぎのように述べた 日本の将来の発展は日本がその工業製品を東南ならびに南アジアの食糧、原料品と交換する貿易を拡大できるかどうかにかかっている、これらの地域には日本が生産している比較的に安価で、しかも米国市場向きでないような商品を必要としている国がある

内外抄

「原爆を日本に貯蔵してもよい」と聞える首相の談話。下手に扱うと世論が爆発するぞ。

◇

閣僚製作では防衛庁長官の格好がつかぬらしい。元軍人型にした世間が怖し、お祭しするよ。

◇

松村新文相説、伴食の椅子の昇格は歓迎だが、松村氏の文教趣味は知らなかったね。

◇

ジェット気流に乗って日本機に新記録。ジェット機の製作も機運に乗って来た。早いとこ行こう。

◇

空前の国際会議続きに観光ブームをあて込む日本。だが、支度は金をとることばかり。

ないがい川柳 吉田机司選



あの路地も行けばよかった次點毎い 船橋 稲村三久
親バカのおかげで無事に入學し 中野 高野藤太郎
十代の稼ぎ監督くさらせる 品川 蝸牛
擔章の小用へあたり障すぎる 千葉 大松仁
あの頃の日記妻にも『さん』があり 市川 川崎火呂志
行く木を楽しみにして相買い 葛飾 福田こうじ
重壓が婦人で満員車のドアー 神奈川 北村やなぎ

市況
超閑散コゲ付

手掛り難から市場は引続き見送り人気強く目立った動きは見られず超閑散コゲ付商状に推移している、特定株はほとんど小口商内で一、二円幅の小動きを改めず引けはおゝむね前値付近に保合った、雑株は富士鉄に山一、三井船に大和の各二万余株買が見られたが大証券筋はいずれも積極味を欠いているので一般は保合圏内の小動きに終始し、僅かに權利落ちの大阪油が小確りにうまれたあと西武、東洋紙の五ー七円安が目立った程度

▽安い株＝西武七円、東洋紙五円、ダイハツ四円、針布、北日本紙三円
▽高い株＝三井埠三円

東京株式仲値
□新株落△配当落（15日前場終値）

特定銘柄		昭電工	69	旭化成	296	カボン	54
東海上	291	日本曹	72	山陽パ	89	三井物	133
郵船	62	旭電化	76	日本パ	88	第一物	98
新三菱	91	三菱造	75	国策パ	90	白木屋	212
日清紡	264	三井造	105	東北パ	108	高島屋	80
味の素	271	三菱重	63	大東紡	89	日活	82
三越	271	石川重	95	商船	54	松竹	193
平和不	382	精工	140	三井船	52	東寶	1240
三井金	109	東洋ベ	115	飯野海	44	大映	171
三菱鉱	93	日立造	43	西武	357	日本粉	123
日鉱	83	浦賀	45	藤田鉱	208	日清粉	150
住友金	103	日平	29	東京ガ	83	日本ビ	153
三菱鉱	46	古河電	71	東電	457	朝日ビ	172
古河鉱	77	日立	78	日銀	—	キリン	198
同和鉱	111	東芝	70	東銀	81	宝酒造	90
住友炭	67	三菱電	100	三井銀	—	台糖	198
三井山	65	小松	68	富士銀	88	明糖	111
北海炭	61	日本光	166	日証金	100	甜菜糖	98
東邦亜	67	キヤノ	141	安田火	118	野田	360
帝石	67	東京光	40	大正海	97	森永	263
日石	93	東洋紡	136	住友海	110	明菓	154
昭和石	87	鐘紡	133	千代田	85	日水産	72
東燃	136	富士紡	106	鋼管	71	昭和産	—
三菱石	94	大日紡	83	日製鋼	74	東洋罐	90
大協石□	97	日東紡	64	八幡	62	合同酒	92
日東化	76	片倉	35	富士鉄	60	三楽	77
日産化	69	呉羽紡	83	神戸鋼	65	大阪糖	138
三菱化	81	東邦レ	100	日特鋼	138	王子紙	193
三井化	100	帝麻	66	日軽金	183	十条紙	214
協和醗	102	中織	57	日金工	59	本州紙	90
東合成	90	帝人	120	日セメ	128	三菱紙	94
信越化	74	東洋レ	158	磐城セ	268	北越紙	53
東高圧	105	三菱レ	121	小野田	82	三井不	795
		倉敷レ	75	横浜ゴ	192	三菱倉	497
				旭硝子	137	三井倉	96
				富士写	118	渋沢倉	122
				小西六	105	東洋埠	202

浅草の鬼 (109)
浜本浩
栗林正幸画

足音（二）

「誰？」

梧郎ではなかった。新子は戸口へ立って行って、声を掛けた。

「わたしだよ」

態とらしいほど穏かなその声は、その朝早くに、新子が相談事を持ち込んだ、部長刑事の安斎保吉であった。

扉の外は、吹き降りの雨であった。安斎は、畳んだ洋傘を持て余しているのだった。新子は、それを受け取りながら、

「手掛りが、ありましたか？」

ときく。新田の行方である。

「有ったがね」

安斎は、苦笑しながら、椅子に腰を据え、大衆煙草の「新生」というのを一本、口にくわえた。



「どうなすッたの？」

が安斎は内ポケットから、その朝、新子が預けて置いた頸飾のケースを取り出して、卓上に置いた。

「受け取りませんでした？」

「渡しそこねたのさ。とにかく大ミスさ」

安斎は、枯れた笑顔で、その顛末を語り出した。むろん、かんじんの所は、骨抜きにした、要領ばかりの話である。つまり——

「黒島さんからも、保護願いが出ていたもので、まんまと熱海で網にかゝってさ、わたしが迎えに出かけたのよ。ところが、横浜で便所にやったら、怪しい男と立話をするのでね、臭いと睨んで、わたしも立って行ったら、人違いをしているらしいと新田がいうのでネ、わたしも気を許して、座席へ戻ろうとしたら、相手の男が突然、わたしを呼びとめた。振りかえったら、新田の姿が見えぬ。残念ながら鮨だよ。ホームを離れた列車から、飛び降りる勇気がわたしにはなくなっているんだ」——と云った程度に語って、安斎部長は、にやにやと苦笑した。

「なぜ、ズラかったんでしょう？」

「そいつは、軽率に云えないさ。しかし、罪を犯さなくても、逃げたい場合があろうじゃないか。とにかく高飛びするかも知れないよ」

「解ったわ、黒島が、おッかないのね」

「さア。しかし、飛ぶ前に現われる所がある。そこで、あんたの力を借りに来たんだよ。あんたにしても、むざむざ手の届かぬ所へ逃がしたくないだろう」

部長は、卓上に置いた、頸飾のケースに眼を移した。

「ずるいわ、部長さん」

新子は、相手の腹を探るような視線を、安斎に向けた。

「協力してくれたら、どうするというつもりはないさ。とにかく、警察も手が足りないからね、罪滅しのつもりで——」

「解りました。リベートなしなら、引き受けますよ」

新子は、気前よく乗り出した。

「ありがとう。それでは、冬木君のアパートへ張り込んでくれないか。八時から十時の間に、現われる見込みだからね」

「あの子を、連れ出しに来るんですね。見付けたら、部長さんに連絡するんですね」

「そうさ。しかし、わたしは、これから遠方へ張り込みにいくんでねー—」

安斎は、新田が先ず、梅子を犯そうとした松隈三平を襲撃するものと見て、三田の会社に張り込むつもりだが、口外はせず、暫く考えてから、

「旗野君は、劇場だね？」と訊く。

「今週は、出ていませんのよ」

「弱ったなア。居たら、頼むつもりだったがねえ」

安斎部長は、呟きながら、雨に濡れた窓に顔を寄せた。

紅燈手帖

◇近づく東おどり◇

又、春の東おどりの季節となったので、いま新橋では西川流も尾上流も、猛けい古の最中である。

演し物は、花柳（寿輔）流では常盤津「願絲縁紫曇（ねがいのいとえにしのむらさきぐも）」と北条秀司作の大和楽「みちのくの祭り」

尾上（菊之丞）流は常盤津「松の名所」と長唄「二人猩々」に、折口信夫原作の「死者の書」よりとった新作「[illegible]絲曼陀羅（すいとまんだら）」の二本。

西川（鯉三郎）流は、例によって、芸者総出の「俗曲お好み集」と、川口松太郎作の清元「おさん茂兵衛」で、これが春の東おどり一番のよびもの、まり千代と小くにの出演である。

いくらか東おどりも鼻についてきて、近頃は、お客も田舎者の見物が多く、昔の艶冶たる芸者中心のあの華やかな廓風景は乏しくなったがなんといっても東京名物の一つとなってしまった。



呼物『おさん茂兵衛』
新作含めて七本を準備

まり千代、小くにのほかに、猿福は今度もお休み、花柳流ではゆみ、中堅では且子、タマ子、宮松、小寿賀、宗子、千琳子、実代、小千代、丸子とメンバーは多士済々で、地方は特にどの土地よりも群を抜き、これだけはどこでもまねられぬところ。

しかし、芸者のいい処は、女としてトウのたったそういう連中より、若手の中にあって「申し上げます」級の、ぺいぺいの中からより出すのが通。

最近の若手でキレイ処は、くに香、小寿惠、小桜、八千代、小いく、友香、まり秀、八千代子、正佐代、まり惠、満代などである。

百聞は一見にしかず、まずはお茶券つき六百五十円を投じて四月一日から廿五日間の、新橋演舞場へおこしの程を一といいたい処。まだこの他にも、掘り出し物があるやも知れない。いつか春東おどりのうわさかな（蝶）【写真は東おどりの風景】

"私は天皇の親戚"
……中年の婦人に守衛氏汗だくの應対……
危く"管理"免れた廿の扉

もう二年ばかり前になるがある土曜日の夕方、ひとりの中年の婦人がNHKの内玄関にあらわれた、人品骨柄いやしからず、ただスカートが長すぎるのがちょっと異様であったが、彼女は受付の守衛にむかって、こういった

「私は天皇陛下の親戚に当る者ですが、今日はNHKをカントクに来ました、NHKは公共放送だから天皇陛下が管理しなければならない、私は天皇陛下の親戚だから、やはり私にも責任がある、私の部屋へ案内しなさい」

気を呑まれた守衛氏は一瞬ハッと思ったが、すぐに気をとり直して丁寧にお帰りを願うことにつとめた、しかし女史は「とも角私の部屋へ案内しなさい、私の部屋はちゃんと三階にある筈です、何をぐずぐずしてるのか、早くしないとエレベーターが閉る ではないか!」と、折からの廿の扉の観客をのせて三階へ昇ろうとする満員エレベーターを指さして叱咤した、結局押問答の末、守衛氏が汗をかきながらお引取りを願ったから事なきを得たが、もし女史の偉容におそれをなして三階の一番大きな部屋、つまりナマ放送の廿の扉のスタジオへご案内でもしたらいったいどんなことに相成ったであろうか、責任プロデューサーとしては、いま思い出しても冷汗ものである

風流世界譚 ……（日本）……

"梅一輪々々ずつの暖かさ"百花にさきがける梅花には、花の兄、春告草、初名草、好文木など数々の異名がありますが、ある藤村の俳句会で、仲間から離れてA君とB嬢、陽当りのいい裏山の枯草を敷いて語りあっているうち、たまたま梅の話となり「月末あたりに は咲くかしら」「そうね…B子さん、今年の観梅は二人っきりで行こうよ。皆と一緒じゃ落着いて句作も出来ない」「私も、あなたをびっくりさせるような句を作りたいワ」「観梅ってのはほんとは夜するもンらしいね、夜の梅って季題があるだろう、昔は専ら、夜の香りを楽しんだらしい…いいだろうな…月光に浮んだ梅の花から、フクイクたる香りが流れてくる…ね、B子さん、泊りがけで行こう」「旅館へ泊るの?」「うん」「だめよ、まだ結婚式あげないンだもの、前から泊っちゃったりしては…ものには、すべて順序があるでしょうね」「うん…あンたのモモが開くのもか…」…梅の次が桜、その次が 桃と

（鮭）

これらの人びとを、世間では「キチガイ」というのだが、私は自ら「超感度諸兄姉」とよぶことにしている、つまり、真空管の感度が違うのだ

たように、逃げ回らなければならなかった

惜しい発禁的ご名答

とんち教室では初期の頃、発売禁止的なカット集がかなりあった、この頃ではラジオコードが普及して、生徒の答も、一般の応募者もちゃんと限界を心得ている、だが最近、某研究生（ゲスト）が「大変ですわ、お宅に五ツ児が産れたんですって!」という、やりくり挨拶の答えに「いや心配ありません、あれはボク一人だけの児じゃありませんから」というご名答は残念ながらカットした「放送」はまだ「粋人酔筆」の域にまで出世していないのである

"貞操を蹂躙された"
"超感度諸兄姉たち怒る"



サトウ・ハチロー氏



堀内敬三氏

サトウ・ハチロー氏のところへ、昨年からひんぴんと来る某々女性のエンピツ書きの手紙も、決して凡人ではない…

「いくらあなたが毎週ラジオで催促されても、私もそうそう金のやりくりがつきません、いつ迄もしつこくいわれるたびに、私は身を切られるようなおもいです、もうほんとうにお金のくめんがつかないのですどうかこんど限りで思いきって下さい」むろん現金を送ってくるわけではないが、彼女はサトウ氏が話泉の放送のときに、彼女にお金の無心をしている声を聞くのである、甚しいのは数年前、電波で貞操をじゅうりんされたと訴える女性があったそうだ、堀内敬三氏は"いつも放送で私の名前ばかりくりかえしていわれるので恥しくて近所に顔むけもできない、何とかして止めさせて下さい"という女性から、しばしば面会を強要され、あるときには非常手段を用いて、まるで自分が悪いことでもし

クイズ楽屋番の嘆き

い慣らされた言葉だが、世はクイズ時代―要するに"頭"と"賞金"の魅力が堂々めぐりする世のなかである、マス・コミュニケーションが横っ拡がりにひろがり、デフレの波が世渡りの奥行きを狭くした挙句の現象である、でラジオのダイヤルをどこに合せてもやたらとクイズ番組が飛び出す次第、そのクイズもそろそろ反省期に入ったとかで、それだけプロデューサーも頭を痛めているわけだが頭を痛めるのはまた"クイズ狂"と称される人種?の手綱さばきでもある、そこで、放送卅周年記念を近くひかえるNHKの「クイズ楽屋番のなげき」を演芸部中道定雄プロデューサーに聞いてみた



……放送中のクイズ番組……

なくなり出した指定席番札
「お宅同様……」との挨拶が原因

われわれ公開番組の演出に従事するものは、放送録音のはじまる前に、観客の皆様に漫談的ごあいさつをしなければならない、これを前説という、ちかごろは放送局が沢山できて、公開録音だのプロデューサーの前説司会なんてことは、ちっとも珍しくなくなっただがわれわれはクイズ草分けのひとりとして、そのいくつかの型をひねり出したのだ、最近こんな話がある、私はとんち教室の「会場のみなさま」を前にして、ときどきこんなことをいった

「劇場なんかにくらべますと、落着きのわるい、ご窮屈な席で相済みませんが、どうぞおらくにお笑い下さいますようにお願いいたします、このりっぱなスタジオも、皆さんの座っていらっしゃる椅子も、もとはといえば月々聴取者の皆様から戴くものを戴いたので出来上っておりますので、いわば皆さま、ご自分の家にいらっしゃると同様、どうぞお気兼ねなくおくつろぎのほどをお願いいたします」

さて、NHKの第一スタジオの観覧席にある折たたみ椅子には、それぞれNの18とかHの56とか、指定席番をしるした一寸しゃれた白いプラスチックのナンバーボードがとりつけてある、ところが「皆さんのお宅同様…」の挨拶をやったところが、この番号札がなくなりはじめたのである、その一つが、たしかNの34番あたりだったと思うが、新橋駅付近のさる喫茶店のウインドウにちょこんと飾ってあるのを、私は偶然発見した

日本版ラスプーチン物語

第四話 貴婦人と黒幕行者

野高一作

ときは明治卅年頃。あたかもロシアでは本物のラスプーチンが、ツアーの宮廷に妖しい翠雨を降らせていた。折も折、わが国にはとてつもない怪人物が現れて貴婦人連をたぶらかし、時の政界に偉大なる黒幕を張りめぐらしていたのである。

一当時、財界や政界に「オンデンまいり」という奇妙な言葉があった。オンデンとは地名で青山穏田のことである。では一体どんな神様がいて政界、財界の知名の士に、どんな御利益を賜うたのであろうか? 他でもない、「予言」である。じっさいこの穏田の神様の予言は、必ずといっていいほどピタリと的中した。この神様には、Kという名前があるのだけれども、みんなは単に"神様"とか"穏田の行者"と呼んだものである。

とまれこの不思議な行者の予言によって成立したといわれる第一次大隈内閣の農商務大臣某氏は、最も狂信的な信者の一人であった。近来に於ても辻嘉六という黒幕氏がいたが、この行者の威力と勢力にくらべれば物の数ではない。非常なハッタリと高飛車な態度で、穏田の行者は、政治家、実業家の度肝を抜き、有難い神託情報を与え、お賽銭をまきあげ、木っ葉代議士には逆に小遣銭をやったくらいである。

そのうち行者は、宮中にまで手をのばそうとしはじめた。かつては詐欺罪か何かで捕まり、しばらくクサい飯を食ったこともあるような前科者が、出獄後易断の看板をかゝげ、あげくにこゝまで野望を発展させたものである。



彼が宮中に魔手をのばす手はじめとして狙った女性は、その名も高い下田歌子女史である。下田女史といえば、宮内省御用掛まで仰せつかった女傑で、生涯を名門の女子教育に捧げた人である。華族女学校などは彼女の創設による。学習院女学校長にもなったし、果ては愛国婦人会の会長にもなった。つまり皇室中心の愛国婦人運動の大立物である。行者が狙う相手として不足はない筈だ。なお下田女史は、上帝のお手がついたとかつかぬとかいう噂があるが、これは確かなことではない。

余談にわたったが、行者は簡単に下田女史にわたりをつけた。このことによって、さらに行者が、各界のあらゆる貴婦人を、狂おしき信者として獲得したことはいうまでもあるまい。そこでタネ明かしをしておく必要が生じたわけだが。すなわち、彼の政界、財界に対する御託宣の情報は、これらの婦人連の口からきき出したものだったのだ。女は、寝るとあらぬことを口走る。行者は寝物語を通じて、女たちの口から亭主のこと、旦那のことをしゃべらせたのである。これで行者の予言がよく当ったわけがうなずける。

まったくこのぶんでいくと、怪行者の威力はどこまで発展するかわからないほどだったが、ついに運命の時はきた。当局が行者を突然アゲたのである。妻を寝とられた某代議士の密告がキッカケだそうだが、その種の瀆職疑獄のかどもあっただろう。しかし当局もあまりにえらい人が関係しているので、行者をとっちめるわけにはいかなかった。政界、財界をさんざんひっかき回した怪行者も、その後死んだ。

（第四話終り）

モダン歳時記
二本榎親子地蔵

大正三年三月十六日、東京地裁刑事第三部で二本榎八人殺しの犯人荒内鎌太郎(三〇)の死刑言渡しがあった

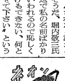
そのころ芝二本榎に親子地蔵というのが建立されていたがこれは同町一の七九日本郵船船長工藤嘉太郎氏の夫人たか(三〇)とその三児及び下女たみ(三〇)の五人が明治四十二年十一月廿一日払暁、何者かに手斧様のもので梨割りにされていたのを世の人が憐んで供養に建てたものだった。

この犯人は当局の懸命な努力に拘らず迷宮入りのまゝになっていたが、まる三年目の大正元年十一月十四日、同町内の瀬戸物商小池丑蔵とその妊娠七ヵ月の新妻ふく(二〇)及び十六歳の小僧の三人がまた鈍器で無残に殴り殺されるという事件がおきた。手口の残虐さといい、工藤夫人や下女おたみ、小池ふくが凌辱を受けていないことから、当局は子供は持たぬが、女には不自由せぬ腕節の強いなどで女郎買い、火事場馴れした男と見当をつけて捜査し、それから十ヵ月目の大正二年八月に工藤家の隣家に住む鳶職の養子鎌太郎を検挙した。初めは隣家の新屋が容疑者として一ヵ月も留置されたが、東京に漸く電灯の普及しだした頃の恐怖だった。

（鮭）

ネオン街

初春に散った社交界の女王



ネオン街の花が一ヒラ散った…三年前本社主催でキャバレー界の女王"ミス東京"を募ったとき、見事栄冠を得た漆山ノンコさん(二三)=銀座七丁目バー"真鶴"=が最近自殺したそうだ、"真鶴"のマダムによれば妻も子もあるくせにサギ常習犯のある男につけ回され、彼女のいやいや大島と同棲すること一ヵ年、われとわが身を詰める泥沼生活を打切った、この間大島は彼女の歓心を買うため無理した金が十万以上、夜な夜な"真鶴"に通ったということだった（S）

あすの運勢 ＝三月十六日＝

高島象山

▲一月生―僥倖的の夢を見て失敗を招来し易い慎重に稼業をまもれ
▲二月生―数日の苦労効を奏して実を結び利達栄昌ある造作開業吉
▲三月生―何事も実力以上に信用を増し利達栄昌あり結婚開業よし
▲四月生―運気不十分で不満不平起り気迷い多し他人より苦労起る
▲五月生―何事も努力して効あるも新規は後に悔あり現場維持よし
▲六月生―思想上の変化起るも従来の事を辛抱して繁昌する移轉吉
▲七月生―男は婦人の事で女子は夫で苦労ある内外共に温和にせよ
▲八月生―前日に續いて向上し順調に進展あり官公吏は引立ある也
▲九月生―万事積極的に活動し思う事叶うも無理は失敗を招くなり
▲十月生―交際外交上に不利で社交は失敗あり身内家内に心配起る
▲十一月生―何事も好運に恵み深き日柄で進取的に努力し開業よし
▲十二月生―素志を一貫して努力し他言に傾くことなく進み有利也

浪人街道 (97)

木村荘十 作　野口昻明 画

浪人組（一）



啓之助と、美代吉を乗せた小舟はやがて掘割の石垣に、段をつけた船つき場に着くと、そこから二人を黒板塀のある邸の裏門へ導いた。

夜のことで、よくは分らないが、茶人の住居という造りで、やがて通されたのは、これも隅田川の流れを引き入れたらしい、池の前の凝った座敷であった。

「今の人数はどちらの…ちょっと御挨拶を致したいが」

啓之助は座につくなり云った。

狂斎は入って来た綾の方を振り返った。

「それが、何様の人数とも分りかねるので御座います」

「なに分らん…では、さきほどの方にでも」

啓之助は、立ち上って出て行こうとしたが、綾は、ちょっと当惑したらしく云った。

「あの方々は、もう御引揚になりました」

「なに、引揚げた? それはどういうことで御座る。何のために左様な」

啓之助は、綾の意外な返事に、それをなじるように云った。

狂斎は、啓之助の不満に同意するように頷きながら、言葉は綾を弁護するように、

「啓之助さんの不審ももっともですがね。それには何か事情がありそうなので…まァ、ここで休ませて戴きながら、ゆっくり綾さまから訳をうかがうことにしたらどうでしょう」

「はい、どうぞ」

綾は、座敷の隅に小さくなっている美代吉を振返って、

「あなた様も、どうぞ、お召替をお用意して戴きましたから…あちらに用意して戴きましたから」と云った。

美代吉は、内心、出来るだけは綾の世話になりたくなかった。

このお嬢さんが、啓之助の心にとまった娘と思うと、嫉妬めいた気持をどうすることも出来なかった。

少しも恩を受けたくないのだが、河内之介に裸身にされて、妙なものを身につけているのでそれを断ることも出来なかった。

「どうぞ」

「はい」

促されて、次の間にいくと、武家の侍女らしい若い娘が二人、どうぞと美代吉を別間へ案内して行った。

綾は、美代吉が出ていくと、「実は…」と啓之助に云った。

「私が、こんな男姿で歩くのを心配致しまして、父が組下の佐吉と申す者に命じまして、私をつけておりましたので…佐吉が、あの人数を案内して参ったので御座います。しかし、あれは父の組下の者では御座いません…それで私にも分りかねると申上げましたので」

「佐吉というのは手先で御座いますか」

「はい」

「その佐吉とやらは何処におりますか」

「あちらに控えておりますが」

「お呼び下さらんか」

「はい」

啓之助は綾に頼んで佐吉を呼び、今の人数はと再び訊ねたが、佐吉も当惑の色を浮べて、

「それは、さる浪人組の方々で、それ以上は申上げられませぬ」

と答えた。

ラジオとテレビ　15日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン ❷ちえのポスト 司会柳内 25 物語「オテナの塔」	00 老人の肺炎 塩沢総一 30 科学家庭座談会「花の色をめぐつて」林孝三	10 夕べの音楽 黒田美治 25 ドレミファ・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇「少年宮本武蔵」❷ 15 バンドタイム 45 スポーツ・ニュース	00 劇「ポツポちゃん」 20 時代劇「銀蛇の窟」 35 歌謡百貨店◇相撲特集
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 話の泉 渡辺紳一郎他 ゲスト ドクトル・チエコ	00 名曲鑑賞❶序曲「命名祝日」❷フルート協奏曲 30 明日の農民 土に生きた人（1）「成富兵庫」	10 録音ニュース 20 歌うパイプ・オルガン 30 ❶落語「大工調べ」照蔵❷「権兵衛狸」正蔵	00 録音ニュース 10 私の東京僕のパリ 30 お好みヒツトメロディ 島倉千代子 芦野宏ほか	00 ラジオタ刊 20 連続劇「今日もまた」 30 服部良一アワー 歌・中村メイコ 田舎娘ほか
8	00 とかくこの世は「春の花嫁」 榎本健一ほか 30 民謡をたずねて ソーラン節他 唄 音丸ほか	05 教養特集 座談会「アジアの知識人」加田哲二 大平善吾 高木滝 渡辺一高	00 スターダスト・コンサート 歌・牧野ヨシオ他 30 歌の風車 霧島昇 池真理子 鶴田六郎ほか	00 家庭音楽会 司会・浅倉アナ 豊吉 高山正彦 30 連続講談 徳川家康（42）宝井馬琴	00 クイズ「また逢いましょう」歌奴 浜田百合子 30 劇「愛の歴史」堀越節子 水城蘭子 清水将夫
9	00 ニュース解説平沢和重 15 劇「源義経」源氏日和の巻 岩井半四郎ほか 40 時の動き	00 音楽のおくりもの ❶提琴協奏曲グルリツト曲 ❷「ヘンゼルとグレーテル」 提琴 渡辺茂夫	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 ニユスを追つて「セーラー服のストライキ」	00 歌うバースデイプレゼント 岸井明 高英男 30 ❶漫才 笙子・美智子 ❷落語「小言念仏」金馬	00 ❶漫才「仲好し旅行」一歩・道雄❷俗曲・玉枝 30 五九童のワンダフルばあちゃん 五九童 蝶子
10	15 虹の調べNHKポツプ 40 芸術よもやま話（1） 高浜虚子 山口青邨	00 ❶初級国語 坂本浩 ❷上級解析 池原止戈夫 45 気象通報	05 今日のニュースから 15 劇「新選組」松本克平 30 歌曲・魔王 菩提樹他	00 和文英訳 JBハリス 30 解析（Ⅰ）戸田清	00 劇「裸一貫」滝沢修他 35 劇「緋牡丹記」轟夕起子 池田昌子 吉野寛他
11	10 英国雑感 桂木輝蔵 20 随筆 石川欣一・作	00 小売店の販売促進法 15 新聞論調	10 わが愛する町「諏訪の巻」平林たい子	00 モーツアルトの提琴協奏曲第3番・フルニエほか	00 スポーツ・カレンダー 40 女の憐さ 細川ちか子

テレビ　☆NHKテレビ☆ 6・10 スポーツクイズ 6・40 変化舞踊の話 徳兵衛 7・30 落語「今戸焼」可楽 7・50 劇「真屋は考える」宮崎恭子ほか 8・20 話の泉 渡辺紳一郎 堀内敬三ほか

☆日本テレビ☆ 6・00 私のお母さん 6・20 クイズ「安宅の関」 6・50 カメラ探訪 日産自動車 7・30 明治座中継「籠釣瓶街酔醒」 幸四郎 歌右衛門 勘彌 又五郎 吉之丞 団蔵ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 荒川豊蔵	8・00 療養の時間赤倉一郎	8・35 劇「花のゆくえ」	8・25 劇「ミナモトさん」	7・35 放送論壇 加瀬俊一
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	8・45 おしやれミユジツク	9・00 昔の歌今の歌	8・10 劇「おとこ大学」
8・30 ラオスの春小牧近江	9・45 独唱 福田富子	9・05 チヤツカリ夫人	9・30 療養の時間遠藤繁清	8・45 お好み歌謡曲
9・45 青いノート 木崎豊	10・00 春のラジオ・クラブ「こども名作集・小学生・中学生・高等学生の時間」	9・30 愛の小窓 関光夫	10・00 菊池滋彌のピアノ	9・00 劇「サザエさん」
11・15 朗読「白き処女地」	12・30 食後の音楽	10・10 名作「警察日記」	10・25 下らない電気料金	9・45 リード集 長門美保
12・30 浪曲「江戸の村雨」椿三四郎	1・15 阪神対阪急定期戦	10・30 光と影 田中千代	10・40 劇「君ひとすじに」	10・00 きんぴら先生青春記
2・05 義太夫「紙屋内の段」		11・35 音楽のスーツケース	11・00 歌の花籠 白根一男	10・30 奥様お茶を
		12・15 オトボケ探偵社	11・15 越後の裸祭り	11・00 連続劇「胡椒息子」

のど自慢へ行く前に
あなたの"聲"を あなたの"耳"で
伴奏つきの録音が一回たった([illegible]円)で

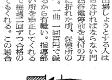
のど自慢が本来どういう趣旨で発生したのかは知らないが、今日ではもう立派な歌手や芸能人の登竜門、今度こそ三つの鐘を鳴らしてやろうといき込んでいるのが、ラジオを通しても、うかがえる歌い手の心なのだ。

「おい今度は二つか?」「いや三つだネ」

聞いている方も一つ一つに命を賭けるような真剣さ。所がやってみるとまた「カーン」どうも出場する前に自分の力を試してみる機会に欠けているのではないか。自分の力をまず自分で知らなければ何故鐘が一つだったのか、知る由もない。先ず自分の力を試そう、というわけで誕生したのが、四谷の「ホープ音楽スタジオ」。ここで歌えば伴奏がついて、その場で録音され、聞いてみることが出来るから実力試しにはうってつけ。のど自慢へ出場しようとする人は一度はくぐらなければならない門だ。場所は四谷電停前を見付の方に向って左に折れた所、保健所のちょっと先。一曲一回百円で録音してくれるから有難い。指導部もあって悪い所を矯正してくれるし、月極めで毎週二回ずつ合格のコツを教えてもくれる。この場合の月謝は二千五百円だが、やがて一流歌手としてレコードに、ラジオに活躍する日を想えば安いものだ。あえてのど自慢子でなくても歌に趣味をもつ人は一度は訪れてみることをおすすめする。

（スタジオ案内）

☆録音部 一回一曲 一〇〇円
☆指導部 普通部一回五〇〇円 童謡部一回三〇〇円
☆月極め特別会員 入会金五〇〇円、月謝（一週二回）一ヶ月二五〇〇円、（入会金月謝とも前納のこと）年中無休毎日午前10時―午後8時



浅草の代表喫茶店
区役所通り アンジェラス

どこにもその土地にピタリとして切離しては考えられないような雰囲気をもったコーヒー店がある。浅草ならさしずめ区役所通りの、「アンジェラス」がそれで、岩佐東一郎氏ら本紙の粋人酔筆の同人その他浅草の芸能人やもろもろのジャーナリスト、文化人が顔を見せ、浅草ピカソ会のタマリにもなっている。所は東西に分れるがパリならモンマルトルのボワットといっていい。といっても大衆がとつき難い店ではなく、映画帰りのアベックが気軽に話題をはずませるのもこの店だし、付近の商社の店員が応接間がわりに客を接待するのもこの店だ。評判のソフトリングは、お化粧だけでは美しくなれませんと、粋人でおなじみの矢野目先生がウンチクを傾けて指導したという、旨くて栄養豊かな逸品、どの角度からみても、先ず浅草の代表的喫茶店といって恥じない店「アンジェラス」である。

コーヒーの本当の味
渋谷駅前「トップ」

コーヒーの味を本当に飲み分けるには十数年の年期が必要だといわれるが、苦味にしろ酸味にしろ豆本来のコクを生かすのはいり方にある。だから生豆を買って来て自分でいって味わう通人もある程だ。そうまでする必要はないにしろ、一般に喫茶店でのむコーヒーは、配合にはかなりの神経を使う店でもいりの方はお他人まかせという店が多いから注意がかん要。そこえ行くと渋谷駅前の「トップ」はコーヒーを本当に味わう店として保証していい。豆本来の味を生かす技術は絶対だし客のお好みによって、いろいろ配合を変えてくれる楽しさもある。色調にしぼった彩光も気持ちよく、全体が日本離れのした近代感覚で統一されているのも美事だ。通は勿論、家族向、二人づれの憩いの場所として文句なしに推奨出来る店である。

東京で唯一軒の店
＝新橋＝「船來屋酒屋」

バーというのは本来あちらの居酒屋のことだが、日本に渡って妙な風に根性が曲り、まるで安女郎屋みたいな店がバーを名乗って威張っているのが現状だ。そんな中にあって、バー本来の姿を伝えて心憎い店が新橋の「船来居酒屋」だ。場所は新橋駅北口おでん一平の地下室。三尺ばかりの入口にそのまま婦人のアクセサリーにしてもいいような木彫りの玉を珠数つなぎしたのれんが下っているからすぐ判り。煉瓦をあしらった階段の両側も北欧的な渋い感じで室内にはくすんだシェードから洩れる光りがランプのように美しく輝く。何よりも圧巻は、広いカウンターの奥にズラリと並んだ豊富な洋酒で、世界の名あるカクテルならどんなものでもOKというから洋酒ファンには垂涎の的だろう。豪華な割に値段は安くサントリー45ccのハイボールが一三〇円、ゴードンのドライジン45ccのジンフィズが二〇〇円といえば、並級品30ccものなどに比べていかに安いか解るだろう。和洋料理お好み次第、しかも専属歌手のジャズやシャンソンがナマのピアノ伴奏でほろ酔いの心を彩どってくれればもう申し分のない雰囲気ではないか。チーフバーテンの吉田さんは帝国ホテルで腕を磨いたその道三〇年のベテラン・十数名の働く女性も知的な美しい人ばかりだから左党なら一度は訪れてみていい店だ。姉妹店として銀座西八丁目にチョト一杯向きの「居酒屋八丁目」と美女群あふれる本格的近代バー「8番館」がある。

男を知らない魅力
アルバイトサロンの圧巻
浅草国際通り『現代』

男を知らないということが男にとっての魅力ちょっと話が落ちればポッと頬を染めたりして何ともいえぬお色気。それが売り物のアルサロでも二、三ヵ月もすれば結構男を知って?プロに転向する女性が多いというが、そうしたプロを探すのが一苦労という正真正銘のアルサロがある。浅草国際通りの「現代」がそれで、集まる女性は約百人。小笠原流に酒をつぐ令嬢風もあれば才気煥発の近代娘や会社勤め女子大生など全てもぎ立てのリンゴみたいな女性ばかり、リンゴなら噛ってもいいかって? それはもう、うれた果物はもがれるのを待つばかり、気に入った子がいたら直接当ってみることですナ。海千山千のプロにあきた舞下長氏は勿論、これからという向きだって、ここで探せばどんなタイプもお好み次第、まるで集団見合いみたいなものだから一本のビールでは安過ぎる眼の法楽。連日打っているショーも毎日趣向を変えるという豪華さだし、銀座新橋のキャバレー並みの設備も充分。庶民の街浅草の名にかけての大衆料金は文句なしに圧巻といっていい。

花だより 四・五日早い

中央気象台は十五日朝桜の開花予想を発表した、ことしは一、二月の暖冬気味の陽気にはぐくまれて、ボミもすっかりふくらみ、異例に早かった昨年よりやや遅れるが、例年にくらべると全国的に、四、五日早く、三月末から四月にかけて一度にパッと咲きだしそう、東京付近では熱海の十九日をはじめ、鎌倉八幡宮、安針塚（浦賀）小田原などの卅四、五日を皮切りに都内麹町付近で廿八日、上野、隅田公園で卅日と一時に咲きはじめ四月三日の日曜日ごろはちょうど満開

鏡子ちゃん殺しに死刑求刑

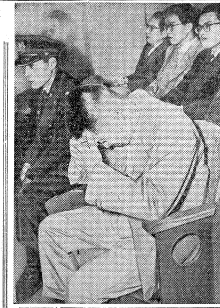
証人 〃坂巻は分裂症でない〃

昨年四月文京区元町小学校内で同校二年生細田鏡子ちゃん（当時七つ）を殺したいわゆる〃鏡子ちゃん殺し〃事件の被告坂巻修吉(二)にたいする求刑公判は十五日午前十時半から東京地裁刑事廿二号法廷で山田裁判長係、山岸検事、青木弁護人立会で開かれた、まず坂巻被告の精神鑑定を行った総武病院々長竹山恒寿博士が証人として出廷、坂巻の精神状態について証言を行った後、山岸検事が坂巻に死刑を求刑した

この日坂巻は定刻過ぎ看守につきそわれ出廷した、薄みどりの背広にグレイのズボン、GI刈りの姿で薄笑いをうかべ平然と被告席についたが、カメラマンのフラッシュにはさすがに両手で顔をかくしてうつむいていた

青木弁護人の質問にたいし竹山証人は「坂巻の性格は自分の感情をおさえきれない暴発的な行動性をもったもので、これが異常な犯罪の型としてあらわれた しかし坂巻は慢性覚醒剤の中毒症状だが、精神病的なものはない、精神分裂症になるような要素はあったが、これは覚醒剤中毒症からあらわれるほんの一時的なもので、分裂症とまではいかない」と証言

これで証人調べを終り、同十一時山岸検事から「被害は細田鏡子という一少女の死を無為に終らしめることなく、将来に向って崇高なる人道観の確立のために厳然たる法の威信を示すべきだ」と論告後、死刑の求刑を行った、なおこの日の傍聴席には被害者の父親読売新聞記者細田弘氏の緊張に青ざめた顔が印象的だった



【写真は公判廷の坂巻】

小柴〃強盗〃を否認

千葉銀ギャング初公判

去る一月十一日朝千葉銀行秋葉原支店からタクシーで現金輸送中の二千四百十万円を奪った麻薬ギャング無職小林由太郎(三)、居川一夫(三)、千葉銀行出納係小柴昭男(三)、新聞販売店主小林邦雄(三)の四被告にたいする第一回公判は十五日午前十時半から東京地裁刑事八号法廷で、栗田裁判長係、阿部検事立会で開かれ、起訴状朗読の後、罪状認否が行なわれ、小林、居川の両被告は犯行を認めたが小柴は「自分は所持していた銀行の金を他の三人で分けあったのだから強盗ではない」と主張、同十一時半閉廷した、次回は四月十二日

別れた女を滅多斬り

十四日夜十一時半ごろ新宿区市ヶ谷富久町一八奥田方無職菅田貞子さん(三)は住所不定無職湯池宗一(四)に自宅で頭、顔、胸など九ヵ所を菜切り包丁で斬られ瀕死の重傷を負わされたが、届出により湯池は早稲田署員に傷害現行犯で検挙された、同署の調べでは湯池が喧嘩別れした前妻菅田さんに復縁を迫ったが断られたためカッとなり凶行を演じたもの

因縁つけ刺す

日大生ら学生四人組

十五日午前一時ごろ中野区上ノ原町一五先で杉並区西高井戸四の五会社員阿部辰亀さん(元)はいずれも廿二、三歳、五尺三、四寸学生風の四人組にいんねんをつけられ、いきなりジャックナイフで左腹を刺され近くの病院に収容されたが重体、届出により中野署で緊急警戒中間もなく現場付近をうろついていた中野区上ノ原町二〇日大生徳吉永(三)世田谷区上北沢二の八三一明大生杉山明(三)の両名を職務質問したところ傷害現行犯で逮捕、逃走中の二人を捜査している

酔って喧嘩、首を斬る

十四日夜十一時ごろ港区芝新橋一の二飲食店「幸代」方で同区南佐久間町一の二五保険外交員市川国丸さん(元)は卅歳くらい、黒ワイシャツ、一見自動車運転手風の男と酔って喧嘩となりいきなりジャックナイフで首筋を斬られ全治三週間の重傷を負わされたと愛宕署に届出た

ふし穴 二つの変態殺人

◇草が萌え青葉が芽をふく頃になると生物にはいろんな変調が起ってくるものだ、「どうも体内に巣食う旧悪が疼きやがって…」なんて嘆くご仁が出るのもこの季節である、警視庁の統計によると変態漢が魔手をとぎ始めるのも三、四月だという、それを裏書きするわけでもあるまいが、最近都内に二つの変態殺人事件があった、だがこの二つとも過失致死と強盗殺人で、表面事件は片ずけられ、奥にひそむ変態的行動が一般にあまり知られていない

◇その一つは去る五日正午ごろ北区神谷町二の一三三三井川甲平さん方で同居人の洋服仕立職、宮崎義男(二)が主人夫妻の留守中、女中の高橋伊勢子さん(三)と戯れが高じ細紐で伊勢子さんの首を絞めたところグッタリとなり死んだというのである子供同士の遊びならいざ知らず年頃の二人が…と赤羽署でその後調べたところ二人は、四、五月前から深い仲に陥り、宮崎のサド的態度に伊勢子さんは全く腐となり以前にも数回にわたりネクタイで絞められたというのだ 話はやゝ脱線するが十八世紀フランス王朝爛熟廃期にマルキ－・ド・サードが女に鞭打ち、首を絞め、サデズムの名を産みだしたが首を絞める行為はサデズムの代表的なものというから彼、宮崎もその範疇？に入るわけだ

◇もう一つの事件は去る七日江戸川区小岩町三の一八五六カメラ商末次道明さん(三)が小岩保健所員大野良孝(三)に喉を菜っ切り包丁で刺され殺された 刑事が被害者の家を調べアッと驚いた、というのは十六ミリのエロフィルム一本と五十数枚のヌード写真類がゾロリ発見されたからである、これが手懸で小岩写友会の幹事だった加害者大野が逮捕されたが、大野の供述がふるっている「末次さんが女タイプで男娼を好みボクにせまる、あまりしつこいので思い切って殺した…」といっている、勿論この自供を全面的には信じられないがフィルムが出たり、ヌード会を組織したりしており双方ともに多分に変態的なことがあったことがうかゞわれる－－木の芽時の事件の背後にはこうした変態的なものがひそまれていることが確かに多いと捜査官も洩らしていた（青）

千束で映画と実演

入場料三千円 四人組挙がる

四谷署では十四日夜十時台東区浅草千束町二の四九〇無職小林直吉(四)方を手入れし、小林と同番地無職千葉三郎こと斎藤三郎(三)同区合羽橋松葉町一四九無職三浦早苗(元)同町九四〇渡辺英子(三)の四人を公然ワイセツ図書陳列罪容疑で検挙、わいせつフィルム三巻十六ミリ映写機一台など証拠品多数を押収した、調べでは小林らは二階六畳間で映画を、隣りの四畳半間で性技を実演、国際通りのポン引が連れてくる客から一人三千円の料金でみせていた疑い

パン屋飛込み自殺

十五日朝六時ごろ品川区上大崎長者丸二六四先山手貨物線踏切で目黒区三田二六八パン屋近藤茂助さん(四)は大宮行貨物列車に飛込み自殺した、事業不振で神経衰弱ぎみだったところから発作的にとび込んだものらしい

浅草六区の殺人

被害者 酒代ゆすったパチンコゴロ？

十四日夜九時半ごろ台東区浅草公園六区二号五四先路上に黒オーバー紺ズボン、黒短靴、卅歳前後の男が死んでいるのを通行人が発見浅草署に届出た、同署で調べたところ上衣に高野というネームの縫とりと、近くの人の証言から同区金杉下町ホワイト・ホテル支配人高野昌富さん(元)ではないかと調べたところ同上衣は昨年暮高野さんが盗まれたことがわかり、同人の話では被害者は荒川区三河島付近の朝鮮人のパチンコ屋ゴロらしく、十五日朝から身許を調べている

被害者は同夜八時半ごろ酒に酔った高野さんが墨田区寺島町二の三九永沢権次郎さん経営の六区交番前衣料品店に現われ「酒代を出せ」といんねんをつけたため同店店員加藤孝夫(三)が廿米離れた現場に連れだし押倒したまま別れた

同署では不審な点があり、十五日午後死体を大塚監察医務院で解剖に付すとともに加藤を十四日同署に留置、傷害致死の疑いで調べている

誰が京子さんに似てるかしら？ バスガール・コンクール

○…「どう私香川京子に似ているかしら…」こうした囁きが会場のアチコチからもれてくる、これは今十五日朝九時から丸ノ内生命保険会館で開かれた「香川京子に似たバスガールコンクール会場」風景である

○…大映が暁の合唱完成記念で催したもので同映画では香川京子がバスガールに扮するが、バスガール嬢の中にも姿や顔、体つきが似たお方が一人や二人はいるだろうということからこのコンクールが開かれたわけ

○…この日集ったのは卅余名審査員には原作者石坂洋次郎、NHK藤倉アナ、映画批評家津村秀夫大映常務の松山英夫の諸氏で、一人一人登場する美しい声、似たタイプに審査員諸氏は眼をキョロキョロするばかりだった



【写真は勢揃した香川京子に似たバスガール 中央は本物の香川京子】

品川に〃予言坊や〃現わる

結婚相談までズバリ

防空壕で誕生 観音さまの申し子？

「当るも八卦当らぬも八卦」の大道易者ではないが結婚、病気、その他一切をピタリあてるという不思議な少年があらわれて評判になっている、いまどき〃予言者〃〃神童〃でもあるまいと半信半疑で訪れる人も、そのものズバリをいい当てられて舌を巻く、そのうわさ本当かどうか〃豆予言者〃を訪ねてみた【写真は礼状の山を前にした鳥毛秀実君】



この話がパッと近所にひろがり、以来北は北海道、南は九州からお伺いを立てにやってくる人たちは数知れないそうで、また依頼状礼状はうず高く山になっている

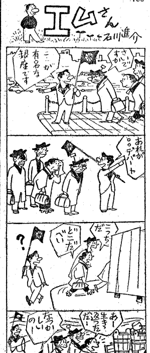
最近では昨年暮品川区小山二の[illegible]

[illegible]談」というからたいへんな信用、そこで「銀座の殺人事件を知ってる？」と聞いたら「新聞読まないから知らないが、きっと捕らないよ」とおっしゃる、「今度の内閣はいつまで続く？」ときいてみたら黙って答えない、たまりかねた母親が「鳩山さんに悪いからいえないんでしょう」と助け舟を出したので〃坊や予言者〃もホッとした顔をした

母親やよさんの話 金を出して後援会を作って上げるからという人もいるのですが、全部お断りしています、医者になりたいというので希望通りにしてやるつもりです、別に当ったからといってお金は戴きませんが、志だけは気持よく受け取っています

担任の森園先生の話 成績は非常によく、二年からずっと学級委員をやっています、画が上手で廿七年に二科の子供美術室に入選したことがあります、とに角感のよい子供です

[illegible]





女房稼業は副業でも 〃いいですナ彼女は〃

関千恵子さんを語る 夫 市川喜一氏

[illegible]



【大宮】



彼岸が近づけば山の陽にも岡の上にも、河の岸にも一度に花が咲くように十七日から七日間、大宮、京王閣、平塚の三競輪が花にまねして一度に開催する

▽前節 今回は六周年を記念して行われるのでオールA級のしかも全国の精鋭を集めた豪華メンバーこうなるとその日の調子と勝運が大きくものをいってくる、昨年のダービー王松本勝、強豪小澤文、地元の高登、黄金井光それに市川啓、阿久津、開千葉の及川光らが優勝を目指そう

▽後節 中井光、宮本義、山田栄、競輪日本一の人気男山本清、原英之、山地正、鈴木幸、桑田成と名を聞くだけでもファンの血は熱くなるに違いない

【京王閣】▽前節 A級では東京のスピード・ボーイ小島忠がチャンス到来とばかり活躍して優勝目指そう、これに大野敏高、阿久津登らが、次ぐまた林常三の脚力には注意、B級では井上俊、小川泉が強い

▽後節 優勝候補は高原悠、松村勇、秋山司などだが出者揃、藤巻虎の食込みもみもの、このほか深田和、安之康、寺内爾の強脚もいる、B級では桑原幸、鈴木全のA下りの対戦

【平塚】▽前節 A級では好調同士の平林巳と高村健の一騎打でまさに興味津々、栗澤良、山田克、市村富、小杉章もなかなかの実力者なので特選では一波乱はあろう、B級は松井邦、桐部金、雅木文がよく稀む

▽後節 取手では惜しくも優勝を逸した小澤恭ここでは雪辱一番強敵竹内寛を相手どって堂々の勝負を演じるだろう、飯野子、鈴木巳渡邊昭、川達満らも元気なので決勝レースに残ろう、B級では柴田郁大野省の好組が問題なく勝星あげよう（画雲京一）

花月園競輪五日目成績

◇第一一B(千二百)❶大野勝1分44秒7❷小島兌¼輪❸菊地治(単)200円(複)150円200円400円(連)❺－❶1040円 ◇第二A(千六百)❶森省三2分18秒9❷湯浅昭1車❸青久保(単)特70円(複)150円110円110円(連)❹－❺180円 ◇第一B(千二百)❶後藤備1分44秒5❷三浦俊½輪❸近藤清(単)600円(複)280円700円280円(連)❸－❺4350円

独眼灯

○…金もないのに飲めるだけ酒を飲んだあげく、さんざ暴れまわり小刀で左手首を刺して偽装の自殺を企てたホンマに人騒がせな男

○…十四日夜十一時ごろ住所不定高橋輝和(三)は渋谷区下通り四の一六酒屋弓野さん方に酔って入りこみ、千四百円余り飲んだ上金を請求されると「俺は自殺するんだ」と傍らの小刀で左手首をブスリ

○…渋谷署員が保護したが酔いもさめたけさ、血のにじむ左手を抱えてさすがに痛そうに「もうこんな酔い方はしません、勘弁して下さい…」とションボリしていた

小山都議を逮捕か

福田派〃違反〃容疑

東京七区選出自由党代議士福田篤泰氏派の選挙違反を追及していた日野署では十五日朝八王子市平田町二五都会議員小山省二(四)を買収の疑いで任意出頭を求め取調べを開始、夕刻までには逮捕状が執行されるもよう

留守宅から出火

十五日午前十一時ごろ新宿区柏木二の五日本電々公社勤務木村和雄さん(三)方で家人不在中勝手付近から出火、木造平家住宅一棟約七坪を全焼した、淀橋署で原因調べ中

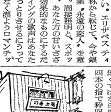
盛り場便り

懐の方には秋風が立っているとしても、そこはそれ春、何となく心がはずんでネオンの巷をさまよってみたくもなるのが人情だろう。そこでブラリと歩いた盛り場往来、懐は傷めず胸暖める方法を探って歩いた〃盛り場便り〃が即ちこれ

〃永遠の恋人〃という名のコーヒー店 ムービー銀座前「リズ」

あなたが愛人づれだったら、銀座五丁目ムービー銀座前の「リズ」へ行くといい。エリザベス・テーラーの愛称から転じて、今や銀座娘の合言葉〃永遠の恋人〃を意味する店だ。間接照明と、スポットの効果は、あなた方の甘いささやきをより効果的なものにするだろうし、スイングの歌声はあなたの恋人をうっとりさせるにうってつけ。何となく漂うロマンチックな雰囲気は、正にアベックの天国だ。最近、評判になったアイスクリームの料理「パフエ」はこの店の専売で、とろけるような〃春の舌ごわり〃は、珍らしさの点からいっても一度賞味するに値いしよう。コーヒーは量感と気の利いたミックスですでに定評。映画女優や、芸能人に常連が多いから、ファンにとっても渇望のサインをせしめる位は朝めし前だ。

ロマンスはすし屋から 有楽町「隅田寿司」



放射能騒ぎで、すし屋魚屋が敬遠されたのはつい先ごろ。ところが、その騒ぎの真最中、ここぞとばかり賑わった店がある。有楽町朝日新聞裏の「隅田寿司」だ。入口ののれんに小林桂樹、越路吹雪、灰田勝彦、笠置シズ子など、映画界や歌謡界の人気者の名前がズラリと書かれているからすぐわかる。この店、種は絶対近海もの、米は新潟、秋田しか使わないというコリようだけあって、すしめしの炊き加減、酢加減、ぎゅっと握った手先のさばきなど、すしやに無くてはならぬ条件は全て一級。四本の指で粋四角に握る年期の入った指先をみてみたまえ、これが本当の「すし」かと合点がゆく。店は清潔そのもので、一階は立食いとテーブル、二階は家族づれやアベック向きの小部屋になっているから、口説きの手初めにもちょうどいい。〃ロマンスはすしやから〃である。

銀座の粋を集めたコーヒー店 交詢ビル一階「ユーハイム」

ユーハイムといえば、昔は本当に銀座らしい銀座好みの紳士のバーとして、その道の達人にはツーカーの名前だったが、昨今、ニューハイムといえば〃ハテ？〃と小首をかしげるのが通の条件になった。というのはこの店、昨年の四月ごろ交詢ビル一階に同名の喫茶店を開業したからだが、開店早々銀座マンの店として話題にのぼり今ではコーヒーマニアの間でも知らぬものはないという、斯界の王座にのし上ってしまったからだ。

一歩店内に入って先ず眼をひくのが建築美術の粋をこらした内部の造りだ。すべて壁際の下方からという斬新な照明も一つの壁かけ、一個の彫像も全てクラシックな陰影の中に統一されている。コーヒーはミックスに苦心の跡のみえる滑らかな舌ざわり。香り高い芳醇さは正に銀座第一級といってよくしっとり落ついた雰囲気は、アベックの楽しい語らいにはうってつけである。銀座のコーヒー店を語ったら落してはならない店の一つだろう。

彼女の歓待法 三原橋の「太泉」で

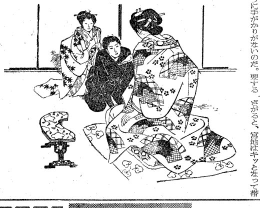
ブラリブラリと銀座八丁をぶらついて、コーヒーをのみ、何やら気の利いた洋食をパクついてはみたが、何となく小腹の空いた感じでどうしようもない。彼女も「ツマンナイ？…」といった顔つきだ「サテ弱ったどうしよう。」お寒くなって来た懐をナデナデ思案投首の彼氏が若しあなただったら…。ちゅうちょなく三原橋の「太泉」へ行くべし。たっぷり盛られた量感豊かな天丼、二人で食べても百六十円ナリですむ。清潔に磨かれた厚さ六寸もあるテーブルをはさんで「君は何にする？にぎり？それともうな丼がいい？」ニヤリとして自信たっぷりにいえばいい。何とも知らぬ彼女、腹一杯食べて曰く「あなた案適ネ。こんな粋な店知ってるなんてスミにおけないワ」これは近頃の銀座モボの定石である。まさか、この味この量この店で天丼八十円、にぎり、うなぎ百円均一などという値段があろうとはよも[illegible]点をついた[illegible]みるべし。

釜めしの独壇場 銀座全線座横「釜八」

香りと舌ざわりの心地よさで古来から食道楽の一つに数えられているものに筍がある。間もなくシーズンだが、シャキシャキしてちょっぴり苦味のある味は、食道楽ならではわからぬ春の醍醐味だろう。その筍を旨く食うものの一つに釜めしがある。適度にご飯の中にしみ込んだ香りと琥珀のような淡い色彩は上手に炊かれた米と相まっての風味[illegible]

続 情炎の千代田城（57）

岩崎栄
寺本忠雄画



好色城（十三）

—ガッタン—という音がした、正面の、坑道に通じる板壁の音だ。

「あッ」

逃がすものかと、お静は闇に刀を、縦、横、上、下に振りながら板壁に突き当って、そこを片手に撫で回してみた。閉まっている。もと通りに平面な板壁である。

おそろしい早業である。板壁を開け、穴に飛び込み、もとどおりにあとをしめ切っている。

しかし、お静はここを開ける力ラクリはすでに承知しているのだ（この板壁の手前半歩—ここいらだった。ここをトン！と踏む…開かない。では、もすこし、もう半歩のここいらを、トン！と…おや、開かない。ここいらかしら…駄目だ。ここいらか…ここらあたりか…どうしても開かない。なんの反応もない）

いくらどうやってみても、どこをどんなに捜してみても、一こうに手がかりがないのだ。要するに、何年か昔の経験は物をいわなかった。あれから出入口の仕掛けを模様替えしたらしい。

（さて—どうしたものか。どこにどんなカラクリが出来ているのかしら）

お静は闇の板敷に、ドッカと尻を据え込んだ。

考えても、しかし、これはちょっとやそっとでわかりそうにもない。

（それよりも—うん、そうだ）

急に立ち上った。曲者を発見した昂奮に捲きこまれ、追跡に夢中のあまり、上様のあの場での、あれからのごようすが、どうおなりなされたのであろうかを、いまごろになって思いついた。

それもあり、これもあり、一刻も早く、これは絵島さまに報告すべきであった。そうだ！とうなずいて、そこからパッと駈け出して来た。

お花見の御催しがあった夜は、夜が更けるまで、浮かれさんざめく大奥なのに、今日ばかりは、火が消えたようにシーンと鎮まりかえっている。将軍俄かの御不例による謹慎の令が敷かれたからである。多くの女中たちは、おゝむね部屋に蟄居している。たまにお廊下を行き来のものも、一さい語らず、足音もたてない。芝居方のものどもゝ、急なお触れ出しで引きさがって行った。

空谷のようになった大奥で、絵島だけが宿直の数人を従えて、その詰所で、石のように固く控えていた。

「申上げます」

宮地である。何か腑に落ちぬらしい表情で、

「妙な、覆面で忍者身なりのお女中が、どこからか…」

「なんと—」

「絵島さまにお会い致したい。自分は、お静と申すものじゃと申上げてくだされば、それでおわかりになりますと」

「あゝ、わかります。待ちかねて居りました。すぐにこれへ」

「でも…あの…ついぞ見かけませぬお女中…」

「よろしいのです。すぐに」

「はい」

とは云ったが、割り切れぬおももちで、しかしそのまゝ出て行って、すぐまた戻って来た。

「このお女中にござりますか」

つれて来たお静のうしろへ一歩さがると、宮地はキッとなって帯の匕首に右手を添えて控えた。

お静は覆面だけ除けたすがたで

「つい、おそく相成りまして」

絵島の前に両手をつかえた。

六区ストリップの話題

このところ浅草界隈は専ら女子プロレスブームで、公園劇場、フランス座などストリップ顔まけの大流行、はては一部のストリッパーもプロレスに転向してドタンバタンと空手チョップやらハンマー投げなどをやる始末、そこでこれらプロレスブームの浅草を歩き回って楽屋の話題を拾ってみる

女子プロレス騒動

ストリッパーのノンプロも出現 慣れぬ投げに故障続出

◎…まずこの女子プロレスリングでは東洋興行（浅草、新宿フランス座とロック座）が先日「日本女子レスリング協会」を公園劇場に出し抜かれてから、急に力を入れ始め、女子プロレス上演廿数日の長期興行を行っている、その当初急場の間に合せとして登場した“東洋女子プロレスリング協会”はもともとコメディアン藤野たかしと「ナミキ・クラブ」の岩瀬進氏とが、キャバレー用のコミック女子レスリングを狙って作ったものだが、フランス座に出演中、藤野氏が岩瀬氏をボイコットしてロック座の長沢支配人と専属契約を結んだとかいう話もあって、早くも女子プロレス騒動がまき起り、現在は“全日本女子ノンプロ女子レスリング協会”と名称を変えて目下、栃木県下を巡業中



小衣京子

そこでフランス座ではこれに代るものとして過日“東京女子プロレスリング協会”と銘打ってその第一期生を一般から募集した、これに合格した新人十数名が四日から早速舞台に出ているが、故障続出で現在は僅か五、六名しか残っていない、十三日更に第二期生を募集するといった具合で、素人の女子プロレスラーの養成に余念がない、劇場側では募集のたびに「何か掘り出しものはないか？」と大きな期待をかけているようだまた一方では東洋興行専属ストリッパーのなかから天津くるみ、小衣京子、黒井ひとみ、ミキ洋子（以上フランス座）藤川絹江（ロック座）らが「松倉ノンプロ女子レスリング協会」を結成し、東京女子プロレスの本職とコミック試合を演じた、八百長とはいえ投げられることには変りなく、天津くるみが尻を打って十日の休演、黒井ひとみが足くび、ミキ洋子が肩の骨を、とそれぞれ痛めて踊りも出来ないという始末、これをみた藤川絹江はすっかりおじけづいてやめてしまい、小衣京子だけが持前の気強さで奮闘している、同座の三冬マリは

「私は気が弱いからとても出来ないんですが、体を痛めて舞台を休めば生活にひびいてきますから…」ともらしていた



三冬マリ

不運にショゲる高原由紀



上 高原由紀 中 K・水町 下 天津くるみ

◉…その他では長くフランス座に腰を据えていたK・水町のミュージックホール入りが決まり十日からおり、同座の高見燿子が胃炎で休演、男優の佐山俊二は一粒種（六歳）がなくなったと大いに悲観している

また、先月末浅草座の高原由紀の父親が他界したが、本人は東映入りのお流れに続くこの重なる不運にすっかりショゲている、もう一つの話題は去年十一月に閉場した美人座が、麗人座と改めて再開場するというウワサがもち上っているのだが、何せ建物自体（佐藤五郎氏所有）が不法建築物で訴えられている上に、二重、三重の担保物件になっており、昨年かられいれいしく門前にかかげられた「近日開場」の絵看板も、風雪に曝されて大分破れてきている、浅草のツワモノどもが入れ替りたち替り解決策に乗り出しているが、建物が税務署から押えられているので何とも手のつけようがないらしい

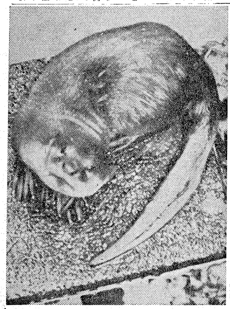


芦川いづみ

若い芽 ⑱

SKDからつい最近飛び出して話題になったが、ご本人はまだまだてんでネンネーの赤ちゃん女優だ、だから今度のことだって人から引抜きだ、契約違反だとさわがれても案外ケロリとして「だって—、アタシはまだ生徒だったのですもん、契約なんて何もなかったわ」などと軽くいってのけるから立派なものだ、そのくせ映画には松竹時代三本、日活入りしてとたんに「青春怪談」の「シンデ」続いて西河克巳監督の「春の夜の出来事」で主役と好運を握っている、有馬稲子に瓜二つという専らの評判なんだが彼女は「ウップン、いやじゃないけど…有馬さんがきれいすぎて悪いわ—」とは可愛らしい、十九歳、現住所＝横浜市鶴見区向町一三六九 （活）（日）

イリップ譚 第八話



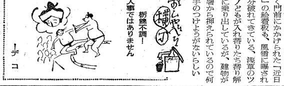
カワウソと記憶喪失症

ゆらゆら揺れる川面の小波を柔らかな日差しがいっぱいに包んでいる居眠りを誘う早春の風に顔をくすぐられながらカワウソの中年男（？）ミミッチーは、記憶喪失症で死んだ仲間のゴンタロや恋愛詩人ガショウ達の生前の面影を、おもたい瞼のなかにぼんやりと描いていた、ミミッチーは花形カワウソとして、足柄山演芸場や動物放送のポンチ教室で活躍したりして得意の絶頂にあった、だが幸福者の彼も所詮はカワウソという宿命を背負っている喜劇の人物に過ぎなかった

彼らは、カッパなどというエテモノと違い血統正しいケモノである、だが彼らカワウソは、悲しいかな、ゴジラやクジラのように獣と魚の混血児的な宿命を背負ってこの世に生をうけている—なんども取替えた若い細君に捨てられて寂しく水底に沈んだ孤独なゴンタロは生前よく、デ、デンデンと義太夫の相方よろしく口三味線で調子をとりながら「いかにして妙齢の美女に化けて悩（ノー）ましきエロチシズムを発散すべきか」という重大テーマと取っ組んでいた、カワウソがお姫様に化けられるという伝説はゴジラ神話期の現代も横行しているのであるだがハイクというゲイジツがお得意で「舟底をガリガリ噛じる春のサメ」などと春雨の名句をものして鼻うごめかしていたゴンタロは何回お姫様に化けようとしてもヒゲや尻尾を隠すことが不可能だった

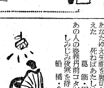
にもかかわらず彼は、あわよくばヘップバーン娘に化けおわせようという冒険まで演じた末、ついにはヤクタイもない病気になり、春のサメほどの詩情も湧かなくなった儘アッケラカンと世を去ったのである、喜劇というものは深刻で悲しい、ゴンタロの喜劇は、大頭を泥サライ船にぶつけて死んだガショウの喜劇であると同時に、いま動物放送やスッポンテレビで拍手を浴びている老若カワウソ達に通じる喜劇なのだ、とても「涙のなかの笑い…」などと澄ましてはおれないのである—「ひょっとしたら俺だって、いやカワウソ族ぜんぶが、いつ記憶喪失症になるか判らないのだ！」

ふっと通り魔のようにそんな考えに襲われてミミッチーはハックションとクシャミを一つやったが、それはほんの一瞬のことで通り魔は春風と共に去り彼はまた、うつらうつらとお姫様の夢を見はじめた、だがその顔は不思議なことに死んだゴンタロに瓜二つだった



名選都々逸

石井きんざ選



地位もサラリーもあいつの方が余計がくやしい恋仇 文京・木村いつ秋

初顔ですわといい切る今夜 目を見りゃ嘘じゃ無いらしい 神奈川・小松まさよし

あなたゆえ先祖を裏切り宗旨も替えた 死ねばあたしは地獄行き 葛飾・田吾作

あの人の幾巻円前コタツに掛けて しみじみ夜更を待つ長さ 船橋・今井ちさと

酔った青郎が手に負えなくて やっと抱えてお隣間まで 新橋・三好の

◇利口な奴だが女の事になるとだらしのない男 選者

◇三遊亭金太郎「やまうば会」十六日午後五時半から上野本牧亭、金太郎の『鼻ねじ』『けんか長屋』タア坊の豆落語ほか、痴楽、勝之助、小金馬、翠松、玉遊、長一郎が出演

はと笛

▽…中央映画の「姉妹」（演出家城巳代治）は南アルプスの山中、早川発電所の近くで長期ロケをやったが、参加した俳優は川崎弘子、望月優子、野添ひとみ、中原ひとみ、倉田マユミなど女優達が多く、朝から晩までキャーくと賑やかな色模様だった

▽…ところが東京の家族たちは何の娯楽機関もない山奥というので何かと不自由だろうと、川崎の夫君福田蘭童氏からのウィスキーを始め、野添家のミカン、望月家のヨーカン、中原家のビスケットやキャラメルという風に連日小包の差入れ、一番“泣かせた”のは倉田の夫君大泉滉が女房の好きな紅茶を幾重にも綿でくるんだ魔法壜の贈物、一同から一斉に冷かされてさすがの“バズーカお時”倉田も真赤になって大照れ



【写真は倉田マユミ】

映画やぶにらみ 不滅の熱球 東宝作品



★…日本プロ野球の誕生時代から不世出の名投手として現代の沢村賞を残した野球界の功労者、沢村栄治（池部良）の半生を、夫人（司葉子）とのラヴロマンスと友情、カムバックの努力などと、それぞれ実際のエピソードにドラマチックな物語を加え、彼がフィリピンで戦死するまでを描きあげている、演出鈴木英夫

★…池部が熱望して扮しただけに、いかにも野球選手らしく、ありし日の沢村を再現して好演している、おそらく沢村を愛したプロ野球オールドファンには、これだけでも一見の価値はあるだろうし野球に全情熱を傾けつくした彼があの無意味な戦争のために球と離れ、妻と別れ召集されて行く前夜のエピソードなどは思わず眼頭のあつくなるようなシーンだ、夫人とのラヴロマンスに演出は半分以上力を注いでいるがこれも司の好演で清らかな雰囲気がよく出ている（勇）

【写真は池部（右）と司】

味のスナップ

季節の料理を楽しむ 田舎の風雅を伝える五反田『富久屋』

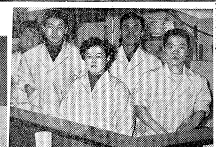
「いつでもその季節の料理を手軽に食べられたら」そんな願いを満たしてくれる料理屋が五反田白木屋裏の「富久屋」である。田舎のさびと風雅をそのまま伝える小座敷、のれんに辰巳柳太郎の名が入っているのもこの店らしいが、何より圧巻は芸達者の女中さんが好みに応じて歌い踊ってくれることだ。雰囲気は高級だが値段は大衆的だ。（49）九八七〇



'お好み焼'の本家 中目黒駅前『つくし』



アプレ商売のようだが本当はかなり古い歴史をもつのが「お好み焼」。浅草のネオンの中から生れて懐ろ手の角帽族や、当時の進歩娘の恋の温床だった、東横線中目黒駅前の「つくし」は開店は戦後だが味は伝統の浅草調、テーブル式ではなく二階とも優雅なお座敷で、家族づれ、同伴向きにいい店である。



山ノ手随一の餃子 目黒権之助坂「好面」

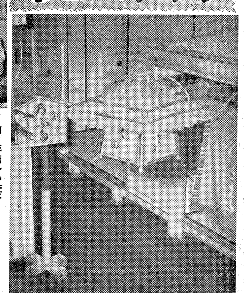
目黒駅下車三幸新街

“目黒の森”といえば何となくパリのボワを想わせるアベック地帯楽しい語らい、そぞろ歩きに疲れたら、権之助坂に出て「好面」に寄るのが定石だ、モダンで瀟洒な店の感じは本格的な餃子の味と共に目黒名物の一つ。最近御徒町数寄屋通りに支店を出したが、マダムの愛嬌ある経営がここにもにじみ出て早くも大賑わいである。

とんかつの圧巻 麻布「稲垣」

とんかつは物真似の好きな日本人にしては稀有の傑作。ビーフカツを真似て中味をとんにし、味噌汁を添えた所などは仲々どうして勝れた味覚だ。ところでその豚かつ、麻布では何といっても「稲垣とんかつ店」だろう。油屋の出だけあって、油の温度揚げ具合いは絶妙だが、それよりも味と厚みと値段が圧巻。都電一ノ橋電停近くにある。（麻布十番倶楽部隣）





すき焼と洋食の殿堂 大衆値段の一流割烹 中野の『信田』電（38）2336

一流料亭の豪華な雰囲気を大衆値段で楽しませるというシャレた店がある。中野駅南口前の「信田」がそれ。すき焼と洋食の店としてつとに名高いが特に神戸牛の本格的なすき焼の味は格別だ。二階は大宴会場になっているが、お二人向きの気の利いた小部屋は、築地新橋級の調度。さし向かいで、チビリとやるのもいいし、想う子の口説きの手初めなどには、すき焼を看板にして安心させる手もある。マスターの経営方針が、一流割烹を大衆に楽しんで貰おうという所にあるだけあって、値段はちょっとした食堂なみ。しかも味は一級品と来てはこたえられぬ。池袋にも支店を持つが、文字通り中野のピカ一を誇っていい店であろう。

大森の知的な匂い 東口のバー『くーる』



大森の知的な匂いにうってつけというバーがある、駅東口、みつぼ劇場のちょっと先を左に曲った所、新しく開店した「くーる」がそれだ。マダムがM大出のインテリーというだけあって、その洗練されたお色気にはちよっと心が動く。トリス40円という値段も安く、スタンドに憩う一時をこよなく楽しいものにしてくれるだろう。

春の夜の味 大井町「エル」



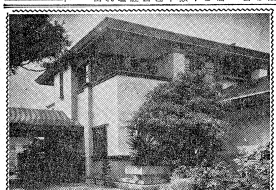
春宵の価千金、つまらぬ所で時間をつぶすのが勿体なかったら、大井町東口のバー「エル」に腰を下ろしてみるといい、静かに流れる春の夜のハーモニーが、美しいマダムのサービスと相まって、疲れも憂いも忘れさせてくれるだろう。豪華とはいえないが、ほのぼのと暖かく知性味ある雰囲気はきっとあなたを喜ばすに違いない。

美しいマダムが二人 大森の「ニツカバー」



ニッカといえば日本代表洋酒の一つ。それが一杯30円とは驚いたネ。所は大森西口に山王小路「ニッカバー」として若いサラリーマン諸氏にはなくてはならぬ憩いの店だ。マダム格のK子、S子の両嬢も近代的で美しく、大森界隈の青年には憧れの的だとか。近くに姉妹店トリスバーが同じく大衆値段でサービスしている。

近代的な結婚式場とフランス料理の店 東中野駅前「モナミ」



数多い結婚式場の中で山手随一の近代的な結婚式場、披露宴場として好評を博している店に独特の仏蘭西料理で卅年来その名の知られている東中野駅前「モナミ」がある。式場には出雲大社を奉納して、挙式から披露宴、新婚旅行の斡旋までするというサービスぶりである。ホールを始め大小十数室文壇・画壇・著名文化人の宴会にもいちばんよく利用されている店で山手における特殊な雰囲気のレストランといえるだろう。

六月からは夏季恒例のダンスのできるビヤガーデンを開設して山手方面のビール党や若いアベックの楽しい納涼場所にもなるというわけである。新宿から五分、東中野駅西口前、電話は中野（38）四〇五九・五二二五・五二四五。